

ICカード乗車券の「PiTaPa (ピタパ)」・「ICOCA (イコカ)」をご存知ですか？

PiTaPa・ICOCAは、電車やバスをご利用される際、乗車時と降車時に駅の改札機やバスの読取機にタッチするだけで、スムーズに乗り降りができる小銭の心配がいらぬ大変便利なカードです。

パスケースに、入れたままご利用いただくことができ、通勤・通学・お出掛けに京都市営地下鉄と京阪バスの乗り継ぎも快適です。

支払方式		PiTaPa	ICOCA
割引	京都市営地下鉄	後払い	チャージ (事前に入金)
	京阪バス	利用額割引	割引なし
		登録型割引	
利用エリア	京都市営地下鉄	全線 (烏丸線、東西線) でご利用できます。	
	京阪バス	全エリアでご利用できます (ただし、高速バス・関西空港リムジンバス・定期観光バス等は除きます)。	

注1 利用額割引・・・1箇月間のご利用金額の合算額に応じて割引を適用
注2 登録型割引・・・1箇月間の支払いに上限を設けるもの
注3 京都市バスではPiTaPa・ICOCAはご利用になれません。

【PiTaPa(ピタパ)】の特徴

ご指定の金融機関口座から引き落としする後払い式のICカードです。スルッとKANSAIエリアの電車・バスの各社局ごとに1箇月間 (月初～月末) のご利用額に応じた割引があります (一部を除く)。また、事前にチャージ (入金) していただくことにより、JR西日本のICOCAエリアでもご利用いただけます。



地下鉄乗降時

【ICOCA(イコカ)】の特徴

JR西日本が提供する前払い式のカードです。近畿圏・岡山・広島のICOCAエリア、PiTaPaが使用できる電車やバスがご利用いただけます。(ご利用に当たっては、事前にチャージ (入金) が必要です)

【ICカード乗車券の入手方法】

【PiTaPa】 鉄道各社局等で様々な「PiTaPa」カードを発行しています。詳しくは「スルッとKANSAI」のホームページをご覧ください (申込みからお手元に届くまで一定の期間が必要です)。

【ICOCA】 JR西日本、京阪電車 (本線) の券売機等で発売しています。

【問合せ先】 市交通局企画課 (☎863-5065) 平日 8時45分～17時30分
京阪バス(株)企画部 (☎682-2310) (代) 平日 9時～18時



京都サンガF.C.健康アカデミー (参加無料)

サッカーボールを使って、楽しく身体を動かしましょう。

- 日時 / 3月2日(金)午前10時半～正午(受付10時～)
- 場所 / 醍醐地域体育館
- 内容 / サッカーボールを使っての健康体操など
- 対象者 / 60歳以上で運動制限のない方
- 定員 / 100名(先着順、要申込)
- 持ち物など / 運動できる服装・室内用シューズ・タオル・飲料水

●申込み・問合せ先 / 2月29日までに各地域包括支援センターまで (電話申込み)

- 音羽 / ☎595-8139 (音羽・音羽川・大塚学区の方)
- 山階 / ☎583-5833 (安朱・山階・西野学区の方)
- 勤修 / ☎595-7736 (山階南・百々・勤修学区の方)
- 大宅 / ☎572-6660 (大宅・小野学区の方)
- 日ノ岡 / ☎595-5575 (陵ヶ岡・鏡山学区の方)



中学生バレーボールチーム「Winds」が全国優勝!

昨年の9月24日に大阪府門真市で開催された「第14回全国ヤングバレーボールクラブ男女優勝大会」で、区内の中学生が中心となった男子バレーボールチームWindsが、U-14男子の部において優勝し、三連覇という偉業を達成されました。過去にも二連覇を果たし、国内トップレベルのクラブチームと

して全国に知られています。

Windsは、山科区出身で元全日本のリベロ、現在はビーチバレー選手として活躍されている西村晃一選手がサポートしているクラブチームで、未来のインドア、ビーチバレーの日本代表になる選手の育成を目指しています。

●問合せ先 / 区まちづくり推進課 (☎592-3088)

農業委員会委員選挙人名簿の縦覧

1月1日現在で調製した京都市農業委員会委員 (第3区選挙区) の選挙人名簿を次のとおり縦覧に

供します。
●期間 / 2月23日(木)～3月8日(木)
●時間 / 午前8時30分～午後5時

●場所 / 伏見区選挙管理委員会 (伏見区役所内) (参考)

第3区選挙区に該当するのは、東山区、山科区、伏見区です。

●問合せ先 / 市選挙管理委員会 (☎241-9250)



みんなで「第2期山科区基本計画」に取り組もう!

第9回 連載 区民活動きずなリレー

～高齢者を町内のきずなで見守る～ 小金塚友愛ねっとプロジェクト

区民と行政が一緒に作った「第2期山科区基本計画」が昨年4月にスタート!このコーナーでは計画に関した区民活動を紹介いたします。

今回は5つの基本施策のうち「地域のつながりを強める」に関連して、地域の高齢者を町内のきずなで見守っている「小金塚友愛ねっとプロジェクト」です。

小金塚地域は、開発されて45年ほどたった人口3000人程度の住宅街です。近年は高齢化が進み、一

人暮らしの方も増えているので、「一人暮らしでも孤独ではない」まちを目指し、平成21年から活動を始めました。

メンバーは小金塚の6町内会ごとに選ばれた委員に民生委員や老人福祉員を合わせ、全部で28人です。それぞれ自分の町の一人暮らしの高齢者を把握し、毎月の訪問やふれあいサロンの実施などを行っています。

かかわりを持っているお年寄りは、70歳以上が455人、うち独居の方が70人となっています。プロ

ジェクトリーダーの藤井さんは、「一人暮らしでもひとりぼっちではないよと伝えたい。小金塚に住んでよかったと思ってもらいたい」とおっしゃいます。訪問以外にも、ふれあいサロン、すこやか学級、地藏盆、敬老の日のお祝い、もちつき大会など、できるだけ家から出てふれあいを感じられる機会を用意しているとのこと。

小金塚自治連合会の瀧尻会長は「高齢者が小金塚の急な坂を上っていたら、他の町内の



辰年にちなんで色紙で龍を表現 (ふれあいサロン)

方でも声を掛けるようにしている。町内会のつながりが基本だが、友愛ねっとプロジェクトによって小金塚がまちぐるみで高齢者を見守ることができている」とおっしゃいます。火災報知機の各住宅への設置も、高齢者の家については委員が設置状況を調べるなど、委員が町内会活動に色々とかかわってつながりを作っているからこそ円滑に進めることができました。

地域の課題の解決には、まずは町内のきずなから。地道な活動の大切さが実感される小金塚友愛ねっとプロジェクトでした。

●問合せ先 / 区総務課企画広報担当 (☎592-3066)